



地域の未来を
島全体で
考える

百島町内会

百島町は総面積3.08km²の小さな離島です。昭和25年には約2,800人いた人口も現在では500人弱、68.9%が65歳以上です。このため町内の地区ごとにある3つの町内会の担い手不足が深刻な問題でした。これまで3つの町内会をまとめる組織はなく、「百島の代表がない」という状況でした。

平成29年4月百島町内会発足

このままでは全島的な課題への対応や要望もできないという危機感から、3つの町内会を代表する組織作りの準備を平成27年2月から進めました。最初に2年で結論を出す決め、月に1度、3地区の区長副区長が話し合い、時には元区長や団体代表など有識者を集めての話し合いを行いました。こうして平成29年4月30日、「百島町内会」を発足させることができました。発足後、会報第1号を発行しました。今後、会議の内容の他、暮らしの情報などを掲載していく予定です。

限られた人材の中で、 できる範囲を工夫して継続していく

すべての問題を解決してから始めようとしていたら、いつまでもスタートできません。組織としての課題はまだありますが、



拍手による賛成多数により、百島町内会が第一歩を踏み出した



未来を担う百島の子どもたちと一緒に百島支所新庁舎の壁塗り

これからやっていながら解決の方法を話し合っていきます。

工夫したことは、他の団体の役員との兼任をなるべくしないようにしたこと。兼任の大変さが後継者ができない一因と考えられるため、できるだけ一人一役とし、各団体間の連携を強化することにしました。地区ごとに行っていた草刈りなどの重労働も、各地区の“動ける人”が一度に集まれば、なんとかやっています。

限られた人材の中で、できる範囲を工夫して、共同作業がどれだけできるかが重要です。

伝統行事や祭も人手不足だからと消滅させるのではなく、経費を節約し区を超えて協力し合うことで、継続していこうとしています。

百島での暮らしを充実させていける 組織づくりを目指す

百島町を代表する町内会ができたことで、情報を一本化して町民に情報を流すことができるようになりましたが、まだまだ手探りです。今後は、各地区で町民から聞き取った意見や、全体委員会での話を全町民に伝える仕組みをうまく機能させていきたいと考えています。

少人数でも各地区の特徴を大事にしながら、百島での暮らしを充実させていける組織にしたいと思います。

百島町内会会長 旗手憲一
(百島支所内 ☎0848-73-2701)



おのみち

Onomichi City 平成29年(2017) 7月号 No.1030

特集 熱いぞ 尾道の夏

地域の特色を活かした活動をしている人や団体をご存じの方は情報をお寄せください。
☎0848-38-9435 @kikaku@city.onomichi.hiroshima.jp

尾道市役所 〒722-8501 広島県尾道市久保一丁目15-1 ☎0848-38-9111 (代表) 【市民の意見箱 ☎0848-37-8937】
編集・発行:総務部秘書広報課 ☎0848-38-9377 ☎0848-38-9294

発行日:7月10日

